

今月号のテーマ ≫ “LEE世代の旅”の現在地

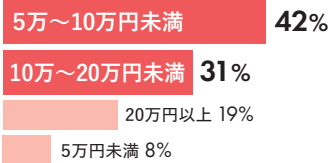
ラボの調査第3回は旅がテーマ。旅行の回数や予算のかげどころ、新調グッズの傾向は？
コロナ禍を経て、物価高でも盛り上がっているという旅事情を掘り下げます。

LEE
暮らしのラボ
vol.3

普段は20万円以下の堅実旅。記念日や海外は予算アップ！

国内旅は予算20万円までが中心である一方で、海外では100万円以上も一定数！
日常の旅は賢く計画し、特別な機会にはしっかり投資する姿勢がうかがえます。

Q 宿泊旅の予算は？



「アーティストのファンミに行く推し活旅は、格安航空を利用。愛媛→横浜の1泊2日で5万円！」(No.057 まゆまるさん)「2泊3日の家族国内旅は20万円。早めのバック予約で宿泊費用を抑えます」(No.042 くみさん)「息子の小学校入学祝いで行ったロンドンは、家族3人で150万円。久々の海外だったので、予算は細かく決めず一番行きたい場所へ」(元LEE100人隊 まあやさん)

旅の満足度は「宿」と「体験」に集中

旅で重視することで票を集めたのは、宿選びと現地での体験。宿泊環境での思い出やアクティビティなど、記憶に残る時間に重きをおく傾向が見られました。

「愛知では『ノリタケの森』で風鈴・お皿の絵つけ体験、『トヨタ産業技術記念館』で自動車の製造工程や豊田佐吉の偉業について学ぶ体験型旅行を。息子と振り返りの会話も弾みます」(元LEE100人隊 ツナさん)「ケアンズで気球に乗って朝日を見たくて、そこに費用をかけました。一生忘れない経験に」(TB aimiさん)「おいしい食事を楽しんで、温泉につかり、のんびりする。そのために憧れの旅館『ふぶ軽井沢 陽光の風』を選択」(LEE DAYS club なおさん)



Q お金をかけてよかった！と思うのは？

- 1 宿泊先
- 2 アクティビティ・体験
- 3 食事
- 4 移動手段
- 5 買い物
- 6 お土産

「2泊3日で石垣島と西表島へ。水牛車に乗りたい、マンゴロープが見たいという夢をかなえるため、アクティビティツアーを予約。普段できない体験を楽しめて家族のよき思い出に！」(LEE DAYS club eringoさん)

持ち物選びから楽しむ
旅好き派が多数



MC 役 ラボ長 たかみー

LEE暮らしのラボとは？

● LEE100人隊・TB

発足から19年目を迎えるLEE専属の読者組織。LEEwebでブログを更新し、暮らしに基づく実感を発信中。

ブログ記事はLEEwebで



● LEE100人隊 卒業生

100人隊として活動した経験を持ち、今もLEEが提案する暮らしに共感する卒業生。等身大の選択や感覚が特徴。

● LEE DAYS club

LEEのお姉さんの立ち位置である『LEE DAYS』の世界観を体現。LEEwebでコラムを執筆する元100人隊。

リレー連載はLEEwebで

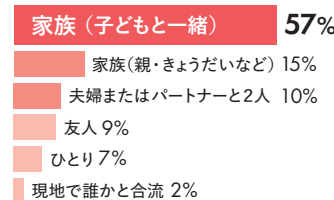


100人隊の現役隊員と卒業生、LEE DAYS clubメンバーなど、LEEのスタイルに共感する読者300名超で構成される組織。日々の行動、心が向くものなど、読者の“今”を分析する、LEEのライフスタイル研究所です。

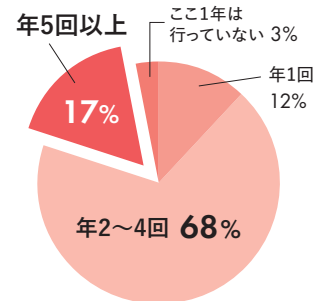
宿泊旅行は“年2回以上”が85%！

年2～4回が中心で、年5回以上出かける層も2割近く。旅＝単発のごほうびではなく、年間の家族ルーティンとして生活に組み込んでいる様子が読み取れます。

Q 最近の旅行には誰と行きましたか？



Q 宿泊旅行は年に何回くらい？



「義父の傘寿祝いのため、夫の両親と私たち夫婦の4人で山口の長門湯本温泉へ。宿は大谷山荘。親の年齢も考え、長めの休みは帰省か、両親を連れて旅行することを優先しています」(元LEE100人隊 こばんさん)

「旅好きで海外に行く回数も多め。LEEマールシェで買ったトボロジーのポトルサコッシュは、貴重品やリップも収納可」(No.065 もえさん)

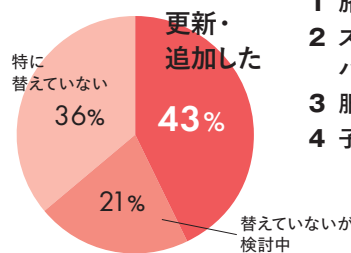


「お気に入りメーカー、イノベーターのスーツケースを買い足しました。デザイン、使い勝手、強度、どれも大満足です」(元LEE100人隊 ロンゴアミーゴさん)



旅に向けて服やグッズを新調する人が半数超！4割がここ2～3年で旅行バッグを更新

Q ここ最近、旅行バッグを買い替えた？



Q 最近の旅行のために新しく買ったものは？

- 1 旅行用小物
- 2 スーツケース・バッグ類
- 3 服・靴
- 4 子ども用アイテム

「HOKAのスニーカーを新たに迎えました。歩きやすさと雨が降っても汚れがあまり目立たないカラーが旅行向き」(No.055 りんちゃんさん)



旅グッズの購入に積極的な人が多数。服を圧縮できる収納袋や、洗面所に吊るして使えるポーチなどの旅行小物を筆頭に、スーツケースから子どもグッズまで幅広く新調していて、準備段階から消費が動く傾向が。旅用の持ち物を見直すこと自体も楽しみのひとつになっているといえそうです。